

コメディリリック第5回「貧乏放し飼い」

「地球拾った」

登場人物

おじさん

シロスコフ

タチバナ

ペイリー・チャイルド

※おじさん、板付き

【L・明転】

壁に張り付いてるおじさん

※タチバナ、登場

おじさんに気づき驚くタチバナ

無視してその場を通り過ぎようとする

おじさん 「おい待て！待てよ！」

一瞬おじさんを見るが無視していなくなる

※タチバナ、はける

おじさん 「待て！おい！おい！」

※おじさん、はける

※おじさん、タチバナ、登場

おじさん 「待ってって言ってるのが聞こえないん

け！？」

タチバナ 「なに？」

再び壁にはりついて

おじさん 「いま、地球拾った」

タチバナ 「え？」

おじさん 「いま、わしは地球を拾った」

タチバナ 「は？」

おじさん 「わしが拾ったから今から地球はわしの  
もんじゃ！言ってることがわかるけ？」

タチバナ 「もー本当に嫌だ」

おじさん 「今お前、地球、歩いとるな？歩いとる  
な？だったらわしに金払え！金！」

無視して通り過ぎようとするタチバナ

おじさん 「待て！待て！（タチバナの右足首を掴  
む）」

タチバナ 「触んな！」

おじさん 「帰さんぞ」

タチバナ 「は？」

おじさん 「お前が俺に地球のレンタル料払うまで  
俺は帰さんぞ」

タチバナ 「払うわけないじゃん。諦めなよ」

おじさん 「諦めんぞ！わしは何も諦めんぞ！」

タチバナ 「その情熱で、こうなる前にどうにかできただろ…」

おじさん 「払えよ！わしの地球じゃ！金払え！」

タチバナ 「この地球がおっさんのもの？」

おじさん 「そうじゃ！わしが拾ったけ、わしの地球じゃ」

タチバナ、唾を吐く

おじさん 「あー！やめー！やめー！わしの地球を汚すな！」

地面に向かって何度も蹴りを入れるタチバナ

タチバナ 「おら！おら！」

おじさん 「やめ！やめ！やめーや！（泣きながら）やめてくれ！やめてくれ！お願い

や！やめてくれ！」

タチバナ 「一生言ってる」

去ろうとするタチバナ

おじさん 「待て！払え！慰謝料払え！（タチバナの右足首を掴む）」

タチバナ 「やめろ！いい加減にしろよ！」

おじさん 「何も諦めんぞ…ここがわしの人生においての踏ん張り時じゃ…」

タチバナ 「もつと他にあっただろ…」

おじさん 「お前、名前と住所と戸籍教えろ」

タチバナ 「絶対嫌だよ」

おじさん 「じゃあ、金払っていけ！わしの地球を汚したんじゃ！」

タチバナ 「俺よりも汚してる奴いっぱいいるだろ。日本の東京にでも行って来いよ」

おじさん 「わしは自分の目に映るものしか信じない。こういう時代だからこそそういう目が大切やないんけ？」

タチバナ 「……ああ？」

おじさん 「もう終わりにしようて。金払えばええやんけ」

タチバナ 「嫌だよ」

おじさん 「そういうのいいよ。本当に」

タチバナ 「嫌だつて」

おじさん 「本当に本当に」

タチバナ 「何でこつちが面倒くさい奴みたいになれなきやいけねんだよ」

おじさん 「今すぐ金を払わないと、わしはお前のことずっと覚えとるぞ」

タチバナ 「めちやくちや嫌だな」  
おじさん 「お前の声、眼差し、匂い、全ていつまでも覚えとるぞ」

タチバナ 「最悪だよ…あーもう、いくら？」

おじさん 「え？」

タチバナ 「いくら欲しいの？」

おじさん 「払ってくれるんけ？」

タチバナ 「払うよ。しつこいし、覚えられたくねーし」

感極まって泣き始めるおじさん

おじさん 「うつつ…」

タチバナ 「おっさん」

おじさん 「ほんつつつとに嬉しい。ほんとにほんとに嬉しいわ…今日まで生きてきて本当によかったわ…」

タチバナ 「いやいや」

おじさん 「(興奮しながら) ここが踏ん張り時って思ってたんじゃ!ここで頑張らなかつたらいつ頑張るんじやつて自分を奮い立たせたんじゃ!」

タチバナ 「うんうん」

おじさん 「諦めないぞ!って…絶対に諦めないぞ!って…そしたらな、金が貰えることになった!」

タチバナ 「いや、わかるわかる。俺が払うんだから」

おじさん 「(急に怒りだして) なんでもっと前に来てくれんかった!？」

タチバナ 「え?え?」  
おじさん 「なんで嫁と子供が出ていく前に来てくれんかった!?なんでじゃ!なあ!なあ!今さら来ても、もう遅いんじゃ!ああああ!」

ああああ!

タチバナ 「急に怖すぎるわ…」

おじさん 「…今のは流石によくないな。今はこっちに非があるわ」

タチバナ 「ずっと非しかないよ?」  
おじさん 「(急に怒りだして) でもお前があの日より前に来てくれたらわしの人生はもっとマシなものになっていたのに!」

タチバナ 「怖すぎるわ!マジで!」

おじさん 「…今のは流石にこっちに非があるな」

タチバナ 「もういいわ!それも!いくら欲しいの?」

おじさん 「…逆にいくらもらえばいい?」

タチバナ 「決めとけよ」

おじさん 「逆にいくらいけんの？」

タチバナ 「はー？…2000円でいい？」

おじさん 「…いいんけ？」

タチバナ 「いいよ。やるよ2000円」

おじさん 「（感極まって）こんな…こんなことがあつてええんか…恐ろしい…この幸せが

恐ろしいわ…（急に怒りだして）もつと前に来てくれよ！なあ！まだ取返しがつ

く前に来てくれよ！何を今さら！」

タチバナ 「知らん知らん！いま貰えるだけありがとう

たいと思つとけ（2000円渡す）」

おじさん 「ありがとう…え、なんでお金くれる

の？」

タチバナ 「地球拾ったんだろ！？あんたが！」

おじさん 「そうじゃそうじゃ！本当にありがとう

な！あ、ありがとう、とかじゃないな。

わしの地球じゃ！大切に扱えよ！」

※おじさん、はける

タチバナ、上を向いて

タチバナ 「あれから4年か…この街もちつとも変

つてねえ。おっさん、流星に死んだかな」

※おじさん、登場

おじさん、グルグル回りながら

おじさん 「はい空気拾ってますー。空気全体の3

0%はわしが所有してますー」

タチバナ 「おっさん！おっさん！」

おじさん 「なんじゃ！」

タチバナ 「ほら！俺！俺のこと覚えてない？」

おじさん 「お前のことなんか知らんわ！」

タチバナ 「あ、そっか。あの時、金払ったから本

当に覚えてないんだな」

おじさん 「お前、息しとるな？息しとるなら金払

えよ。金」

タチバナ 「…いくら？」

おじさん 「ここの空気はわしが拾ったんじゃ！わ

しの空気じゃ！」

タチバナ 「だから、いくら？」

おじさん 「絶対に諦めんぞ。前向いて生きとるん

じゃ。前向いて生きとるんじゃ」

---

タチバナ 「おっさん！聞け！払うって！払うの！」

おじさん 「上を向いて歩くんじや！」

タチバナ 「いくら？200万？200万でいい

か？」

おじさん 「う…うわああ！うわああああ！」

おじさん、タチバナを刺す

倒れるタチバナ

急いで逃げるおじさん

※おじさん、はける

【L・暗転】

—了—